



葛巻サッカー少年団が 8年ぶりの県大会出場

第37回全日本少年サッカー県大会の予選ラウンドは6月2日、8日、9日の3日間、盛岡市を会場に県内93チームが参加して開催されました。予選ラウンドは1グループ5～6チーム、16グループのリーグ戦で行われ、各グループ上位2チームが県大会へ出場することができます。

葛巻サッカースポーツ少年団（笹川昭文監督・団員22人）は、予選ラウンドを3勝1分1敗のグループ2位で8年ぶりの県大会出場を決めました。

6月16日に行われた県大会の初戦はヴェルディサッカースクール岩手。健闘及ばず0対8で敗れましたが、最後まで諦めない選手たちのひたむきな姿に惜しみない声援が送られました。

8年ぶりの県大会出場を決めた葛巻サッカースポーツ少年団（盛岡市・青山小学校グラウンド）



来町者を花で迎えたい 夢ミルクの会が花植え

町を訪れる人を花で迎えたいと、夢ミルクの会（藤森敏子会長・会員40人）は6月12日、町の玄関口でもある土谷川地区の道の駅付近の花壇に花を植栽しました。

この日は会員ら10人が参加。300㎡ほどの花壇に畝をつくり、マルチをかけた後、マリーゴールドやサルビアなど約200本の花の苗を手際よく植えました。日照りが続いていたため散水用に1,000リットルの水を用意。じょうろで1本ずつ丁寧に水をかけて終了しました。

花植えに参加した長峯礼子さん（五日市）は「7月から10月まできれいに咲くので、近くを通った際にはぜひご覧ください」と笑顔で呼びかけました。

花植え終了後、ぜひ見に来てくださいね〜と笑顔で呼びかける会員

手づくりの良さを学ぶ パン作り体験教室開催

町公民館主催のパン作り体験教室は6月20日、講師の高宮光子さん宅（田子）で開かれ、8人の参加者がパン作りに挑戦しました。

全2回行われる教室の第1回目は、エッグパンズと食パン、レーズン入り食パンを作りました。

高宮さんは、分かりやすい説明を交えながら作り方を教え、きれいな丸型にパンの生地を練ると、参加者から歓声が上がりました。

参加した大石立子さん（城内小路）は「今日作ったパンを家でも作りたい」と笑顔で話しました。



講師からパン生地の練り方を教わる参加者の皆さん

すてきな瞬間を写真に デジカメ教室で腕磨く

町公民館主催のデジタルカメラ教室は6月13日、町総合センターと平庭高原つつじが丘で行われ、11人の参加者がデジタルカメラによる撮影の腕を磨きました。

参加者たちは、講師の高澤安男さん（葛巻写真クラブ）から撮影の心構えやテクニックなどの説明を受けた後、つつじが丘にバスで移動し撮影にチャレンジ。さわやかな晴天の下で汗を流しながら、高原の景色や高山植物をカメラに収めていました。

この教室は、今後4回行われます。皆さんも参加してみませんか。



講師の丁寧な指導を受けながら、高山植物の撮影にチャレンジする参加者の皆さん



葛巻森林愛護少年団が 震災復興を祈念し植樹

葛巻地区森林愛護少年団（土谷育育成会長・団員34人）は5月26日、東日本大震災の復興を祈念し、小屋瀬小学校のプールサイドに「ケヤキ」と「ヤマザクラ」の苗木をそれぞれを植樹しました。この日は同校の運動会も開催され、父兄らは苗木の植樹を見守りました。

この苗木は、5月11日に東京都立日比谷公園で開催された「第23回森と花の祭典・みどりの感謝祭」において東日本大震災復興祈念緑化用苗木として贈呈されたものです。式典には、団員の江田智哉くん（小屋瀬小6年）と山本晃太郎くん（同校5年）が出席。約400人の出席者の前で参議院議長から受け取りました。

植樹記念標柱を建立し記念撮影（小屋瀬小学校）



飲んで回って気分最高 第2回はしご酒まつり

第2回くずまきはしご酒まつり（町商工会主催）は6月25日、町中心部で飲食店12店舗が参加して開催されました。

7店舗まで回れるチケットは、前売りが男性3,500円、女性2,500円。当日券は男女とも3,500円。各店舗で提供されるメニューは「1ドリンク+料理1品以上」で、この日のために用意した各店舗のお得なメニューが並びました。気軽な価格設定と各店の逸品料理で、今回用意した200枚のチケットは完売となる人気ぶり。

参加者からは「また開催してほしい」、「次回も参加します」などの声が多く聞こえ、早くも次回の開催を楽しみにしている様子でした。

店内で一緒になった参加者と会話が弾みます（城内小路・みもれ）